



さかど

文責 校長 谷口 義明

学ぶことと勉強することってどう違うの？

今週火曜日の集会で、子供たちに「学ぶ」と「勉強する」ことの違いについて話をしました。ど

ちらも学習することに違いはないのですが、なんとなくわかっているつもりでもあらためて調べて

みると、大きな違いがあることがわかりました。次のことをヒントに皆さんも考えてみてください。

- ・子どもに「勉強したら・・・」「勉強しなさい」などと言うことはあっても「学んだら・・・」「学びなさい」ということはほとんどない。
- ・「勉強が好き」ということはあっても「学ぶのが好き」とはあまり言わない。
- ・「勉強嫌い」という場面はあっても「学ぶの嫌い」という場面はほとんどない。

ここまででおわかりでしょうか。実は学習者の姿勢が大きくかかわっているのです。

自ら進んで学習（好きなこと、興味あること）に向かい探求する「学ぶ」に対して、「勉強する」は学習者の興味関心や好き嫌いにかかわらず学習することを指しています。半強制的な学習（「教科書〇〇ページ開いて」「この漢字1行ずつ書いて」など）もこちらになります。

したがって学習効果は「勉強する」より「学ぶ」方が圧倒的に高いわけです。

学習の仕方を示す学びのピラミッドと学習効果の関係においても、講義→読書→視聴覚→デモンストレーション→グループ討論→自ら体験→他者に教える・・・と先に行くほど学習効果が高いという結果があります。こちらに照らし合わせてみても同じことが言えます。

子どもたちには、「自分から進んで取り組みましょう」と願いを込めて「学習するときには勉強するのではなく学びましょう」と伝えました。

熱中症に注意！

非常に暑い季節になりました。市の教育委員会から示されている熱中症対策ガイドラインをもとに、WBGTの値が31以上になった場合や熱中症警戒アラートが発令された場合には運動は原則中止とさせていただきます。この原則にのっとり、昼休みには外での運動を禁止とすることもあります。また、WBGTの値が28以上の場合でも激しい運動は原則中止とします。ほぼ毎日外で運動できていない状

況ですが、ご理解ご協力をお願いします。

子供への声かけ、大丈夫ですか

夕方、お子さんに「宿題はやったの?」「まだやってないの?」などと声をかけていないでしょうか。

「今日の宿題はどんなものだったの?」「おもしろい宿題あった?」と言い換えるだけで印象や反応は大きく違ってきます。

私たちもそうですが、子供たちに何かをやらせるのではなく、やったことを認める、またはやっていないことに興味をもって挑戦させる、そんな教育やしつけを心掛けたいものです。待つことも多く辛抱が必要なことではありますが・・・。

学校には特別活動という教育活動があります。この特別活動は主体的・自治的な取り組みとして非常に効果を生む活動です。

例えば、掃除に全く取り組もうとしない児童がいたとします。(実際本校の児童はとても良くてやっていますが) この掃除をしない児童に教師が「何やってるんだ。ちゃんとやりなさい。」というよりも

「きれいな学校にしよう」などという題材で話し合い活動を児童自身の手になねてみると、教師が言うよりもずっと即効性があり、効果が長続きます。

自分自身で(自分たちで)決めたことはしっかりやろうとする。人に言われてやっているうちはその時だけで本物ではないということなのでしょう。表面の「学ぶ」もそうですが、何か本人に決めさせて任せてみる、そんな夏休みにしてみてもいいのではないでしょうか。

夏季休業中の連絡等について

休業中の学校には日直がおります。何か気になること等や緊急の連絡等は学校(281-0039)にお願いいたします。なお、8月13日~15日は閉庁日となっておりますので、緊急の場合は市役所の学校教育課(049-281-1331市役所代表電話)までご連絡ください。